

令和7年6月 本会議 議事録

【年 月 日】 令和7年6月9日 【答弁番号】 19-2-1

【質疑件名】 東田大通り公園を含む東田地区の今後の開発について

【質 疑 者】 小金丸かずよし 議員（まるまる戸八会）

【作 成 課】 都市戦略局都市再生企画課

■小金丸かずよし 議員

次に、東田大通り公園を含む東田地区の今後の開発について、伺います。

東田大通り公園は、2001年に開催された「北九州博覧祭」の跡地に整備された都市型の大型公園で、近代産業の発展の礎となった東田の地に位置しています。また、東田地区は、ご承知のとおり官営八幡製鐵所発祥の地で、日本の工業発展を支えた地域です。その後の産業構造の変化によって、現在では、「環境未来都市北九州」の象徴となるようなさまざまな取り組みがなされています。加えて、周辺には大型商業施設、いのちのたび博物館、環境ミュージアムやスペース LABO など、県外からの来訪者も多い教育施設が立ち並び、JR スペースワールド駅にも隣接し、交通アクセスも非常によい場所にあることなどから、週末には多くの方が集まり賑わいをみせています。

さらに、近年では、東田地区の公共空間を一体的で連続性のある空間に再編し、居心地よく歩きたくなる公共空間づくりを目指した「東田オープンパーク WE EK」や、中央町地区、枝光地区を含めた人の周遊を意識した歩行空間を創出する「東田バルマルシェ」や、八幡東区最大のお祭りである「起業祭」との会場連携などの取り組みも行われています。イベント期間中は多くの方が東田地区や中央町地区、枝光地区などの周辺地区に集まり、賑わいが発生しています。

一方で、これらのイベントは期間が限定的な取り組みであるため、街の賑わいが平日まで浸透しているとは言いがたい状況です。これからは、平日を含めた通年で街が賑わい、そして、その効果が周辺地区まで波及するように、東田地区や周辺地区が持つ魅力を最大限に生かしていく取り組みが必要であると感じております。

そこで、2点お尋ねします。

1点目に、東田地区の今後の整備計画について、見解を伺います。

2点目に、東田大通り公園を含めた中央町地区、枝光地区との連携について、今後どのようにしていくべきとお考えか、見解を伺います。

■武内和久 市長

北九州市では、ジ・アウトレット北九州の開業やスペース LABO のオープンを契機といたしまして、東田地区における観光需要のさらなる取り込みと地域の活性化を目指し、魅力ある都市空間の形成に向けまして、ハード・ソフトの両面において官民連携による取組を進めております。

これまで、スペースワールド駅前広場を東田地区の「まちの顔」としてふさわしい空間へと再整備をいたしました。

また、東田大通り公園につきましては、北側ブロックを開放的で快適な空間へと改修をし、イベント等が実施可能なスペースを設けたところであります。

こうした公共空間の整備に加えまして、地域や民間事業者の皆様と連携したイベントを随時開催をいたしまして、多くの方に東田地区を訪れていただいているところであります。

今後の東田地区のまちづくりにおきましては、東田大通り公園を中心に、誰もが居心地よく歩きたくなるウォーカブルな都市空間とすることで、市民の皆様が日常的に気軽に訪れたい環境を整えていきたいと考えております。

このため、まずは東田大通り公園につきましては、

1 つは、幅広い年齢層が気軽に運動やストレッチを行える健康遊具や子どもたちが楽しめる遊具の整備

2 つ目には、Park-PFI の導入などにより、民間活力を活かした日常的な集客施設の整備に取り組んで参ります。

次に、東田、中央町および枝光の地区間連携につきましては、各地区がそれぞれの歴史や文化的特性を活かしつつも、共通のまちづくりの方向性を持たせて連携をし、機能を補完し合う持続的なまちづくりを推進していきたいと考えております。

これまで、具体的な活動として、各地区の関係者の皆様が参画をする「東田・未来都市プロジェクト推進コンソーシアム」を組織し、各地区を回遊する、先端技術を導入したモビリティ運行の実証実験に取り組んでおります。

また、昨年度からは、「東田バル&マルシェ」など、各地区の関係者の皆様が協力をしてイベントを企画・合同開催し、地区間の連携を一層深めているところでもございます。

今後とも、地域の皆様と連携をしながら、東田地区をはじめとした地域全体の魅力が相乗的に高まるよう、まちづくりに取り組んで参ります。

■小金丸かずよし 議員

続きまして、東田地区の再整備計画につきまして武内市長からご答弁をいただきまして、本当にありがとうございました。

工業都市として本当に栄えた八幡の中心に位置するのが東田地区ですけども、やはり、街の賑わいをつくっていくのは人です。

東田公園はですね、もはや人が訪れる街にするのか、はたまた人が定住する街にするのか、その2択によって今後の北九州のまちづくりに関わる重大な選択肢にもなるかという風にも思います。やはり、一過性のイベントというのは、非常に達成感も満足感もあって、周知もできて盛り上がるんですけども、やはり人が定着することを本気で力を入れていかなければ、街は衰退の一途を辿るような気がしてまいります。これは、八幡地区、東田地区のみならずですね、今後もですね、近辺の中央区商店街や枝光商店街も商いがしっかりと成り立っていくように連携も含めてお願いしたいと思います。

質問も考えていたんですけどすみません、要望というか、一緒に共に頑張って参りましょうということで次の公園に移らせていただきますけども、わんぱく広場があります、桃園にあります。これは市政15周年のときに小中学生から公募した遊具をですね、いろんなアイデアを募って、そして今採用している遊具がたくさんあります。昭和ならではのですね、宇宙人のデザインをしたモニュメントとかもですね、行かれたことない方はぜひ行っていただきたいと思うんですけども、やはりあの、与えられた遊具を100%の状態で、はい、完成しました、これで遊んでくださいということではなくて、ぜひ、わくわくするような、小中学生のですね、そこに参加したんだという意識が芽生えるような街づくり、公園づくりに期待を申し上げます。